

法人税等の申告・申請に当たっては、 e-Tax^{イータックス} をご利用ください！

「オンライン利用率引上げに係る基本計画」に係る取組について

背景

政府においてデジタル庁が設立されるなど、デジタル・ガバメントを推進する体制が整備されたほか、規制改革実施計画（令和3年6月18日閣議決定）で「オンライン利用率を大胆に引き上げる」旨が記載されるなど、政府全体として「行政手続の100%オンライン利用」に向けた取組が実施されました。

財務省において、規制改革実施計画に基づき、年間の提出件数が10万件以上の手続（国税関係の対象手続は、28手続）について、「オンライン利用率引上げに係る基本計画」を策定しています。



将来的な「行政手続の100%オンライン利用」を見据えて、基本計画により取り組むこととされた28手続はもちろん、**オンラインで利用可能な全ての手続について、e-Tax利用**をお願いします。

法人税申告においては、添付書類も含めた全ての書類をe-Taxで提出していただけるよう、以下のとおり、利便性の向上に向けた施策を導入してきました。

これらの施策は、電子申告が義務化されていない中小法人等も含め、全ての法人で利用していただけますので、申告等をされる際は、是非e-Taxを利用し、**添付書類も含めた全ての書類**をe-Taxでご提出ください！

利便性向上施策についてはこちらから



【参考：電子申告の義務化制度】

令和2年4月以後開始する事業年度から、事業年度開始時の資本金の額等が1億円超などの要件に該当する法人等について、法人税及び地方法人税並びに消費税等における申告書及び申告書に添付すべきものとされている書類の全てをe-Taxにより提出することが義務化されています。

また、グループ通算制度の適用法人についても、電子申告義務化制度の対象です。

財務諸表のデータ形式の柔軟化（CSV形式）

【国税庁動画チャンネル】

財務諸表について、現行のXBRL形式による提出に加え、CSV形式による提出が可能です。

（国税庁から勘定科目コードを含めた標準フォームを提供）

詳しくは、国税庁動画チャンネル「国税庁標準フォームを使用した作成方法について」をご覧ください。



導入前

作成した財務諸表をXBRL形式に変換するための調整作業が煩雑

（例）使用するソフトウェアに適合させるため、勘定科目の順番や名称の変更等が必要

○ 法人が作成した損益計算書

〈法人使用の勘定科目〉			
東京支店売上高	300,000	→	
大阪支店売上高	200,000	→	
その他売上高	100,000	→	
売上高合計	600,000	600,000	
期首商品棚卸高	50,000		
当期商品仕入高	100,000		
合計	150,000		
期末商品棚卸高	50,000	100,000	
売上総利益		500,000	

〈e-Taxの勘定科目〉
フランチャイズ売上高
フランチャイズ売上高
賃貸収入

導入後

財務諸表データを変換するための調整作業が軽減

〈Excelでの作成イメージ〉

法人使用勘定科目	国税庁が提供する勘定科目コード	金額
売掛金	A100003	100000
子会社売掛金	A100004	200000
工場	A100005	2000000

CSV化（※）

標準的に使用されている勘定科目（約6,400）ごとに国税庁が勘定科目コードを策定・公表

※CSVデータ作成用の標準フォーム（Excel）を提供

XMLデータ+CSVデータ

別表1(1)等
財務諸表
のCSVデータ

e-Taxソフト等に取り込み



e-Tax
送信

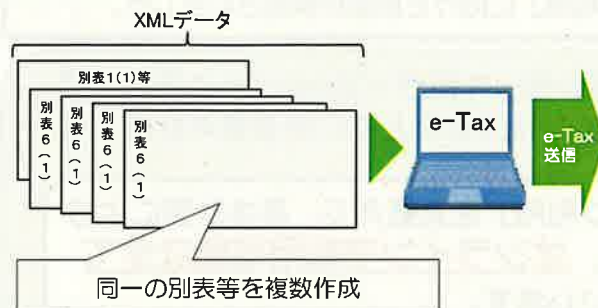
法人税申告書別表（明細記載を要する部分）等のデータ形式の柔軟化（CSV形式）

別表のうち明細記載を要する部分(注)や勘定科目内訳明細書について、現行のXML形式による提出に加え、CSV形式による提出が可能です（国税庁から標準フォームを提供）。

（注）対象となる別表については、e-Taxホームページを御覧ください。

導入前

企業内のデータをXML形式に変換するための調整作業が煩雑であったほか、記載量が多くなる場合には、同一の別表等を複数作成する必要性が生じるなど非効率



導入後

企業内のデータを変換するための調整作業が軽減されたほか、記載量が多くなる場合でも、同一別表等の複数作成が不要

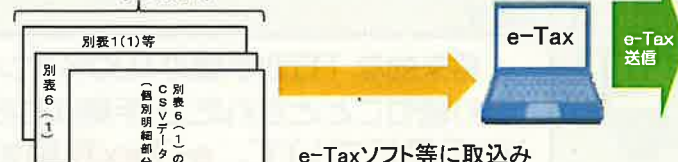
〈Excelでの作成イメージ〉

銘柄	収入金額	所得税額	配当等	左記の3	所有期間	控除を受け
A証券	1000000	30000	12	8	67%	20100
B証券	800000	10000	12	12	100%	10000
C証券	2000000	100000	12	3	25%	25000

CSV化(※)

※CSVデータ作成用の標準フォーム(Excel)を提供

XMLデータ+CSVデータ



添付書類のイメージデータによる提出

e-Taxで申告や申請・届出等を行う場合に、別途、書面による提出が必要となる添付書類については、書面による提出に代えて、イメージデータ（PDF形式）による提出が可能です。

○ 対象となる添付書類

電子データ（XML形式、XBRL形式又はCSV形式）で提出することができない書類（出資関係図や控除対象外国法人税額が課されたことを証する書類など）

※ 「勘定科目内訳明細書」、「財務諸表」など、電子データにより提出が可能な添付書類については、イメージデータによる提出は認められていませんので、ご注意ください。

○ 提出方法

e-Taxソフト（WEB版）やイメージデータの提出に対応している市販の税務・会計ソフト等を使用し、以下に掲げる方法でイメージデータを送信することができます（①と②を併用することで、最大11回の送信が可能）。

- ① 申告等データを送信した後、メッセージボックスから提出する方法……10回まで送信可
- ② 申告等データと同時に添付書類（PDF形式）を提出する方法……1回のみ送信可

○ 提出可能なデータ形式

解像度200dpi相当以上のPDF形式のみ

※ 送信1回当たりのデータ容量は14.0MBまで、ファイル数は136ファイルまで可能です。

その他

◎ e-Tax受付時間の更なる拡大

e-Tax受付時間は、火曜日～金曜日の24時間に加え、月・土・日・休祝日の8時30分～24時まで拡大しています。

※ メンテナンス日を除きます。

◎ 法人番号の入力による法人名称等の自動反映

法人番号を入力することにより、法人名及び本店所在地情報が明細書に自動反映されます。



詳しくは、e-Taxホームページをご覧ください。

<https://www.e-tax.nta.go.jp>

e-Tax

検索



令和5年6月